

再生可能エネルギー導入 御説明資料

電力サービス事業部
第三課

化学品第四部
エレクトロニクス第一課



太陽光発電システム 設置場所・メリット

1. 資産の活用

屋根・敷地のスペースを活用し、電気代削減、環境価値創出

2. 遮熱効果

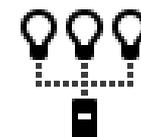
屋根に太陽光発電を設置することで、直射日光による屋根の温度上昇を防ぎ、室内温度の上昇を防止し、空調負荷の軽減・省エネに繋がる

3. BCP対策

災害停電時、太陽光発電から電気を工場に供給することで、事業継続が可能。
天候によるが電気供給が可能

4. 環境施設

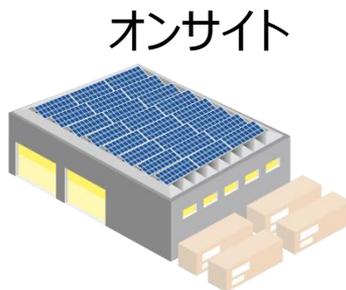
太陽光パネル設置面積は、環境施設面積にカウントされる
(工場立地法では緑地 + 環境施設は敷地面積の25%必要)



<設置場所例>



① 自社ビル



② 工場、倉庫

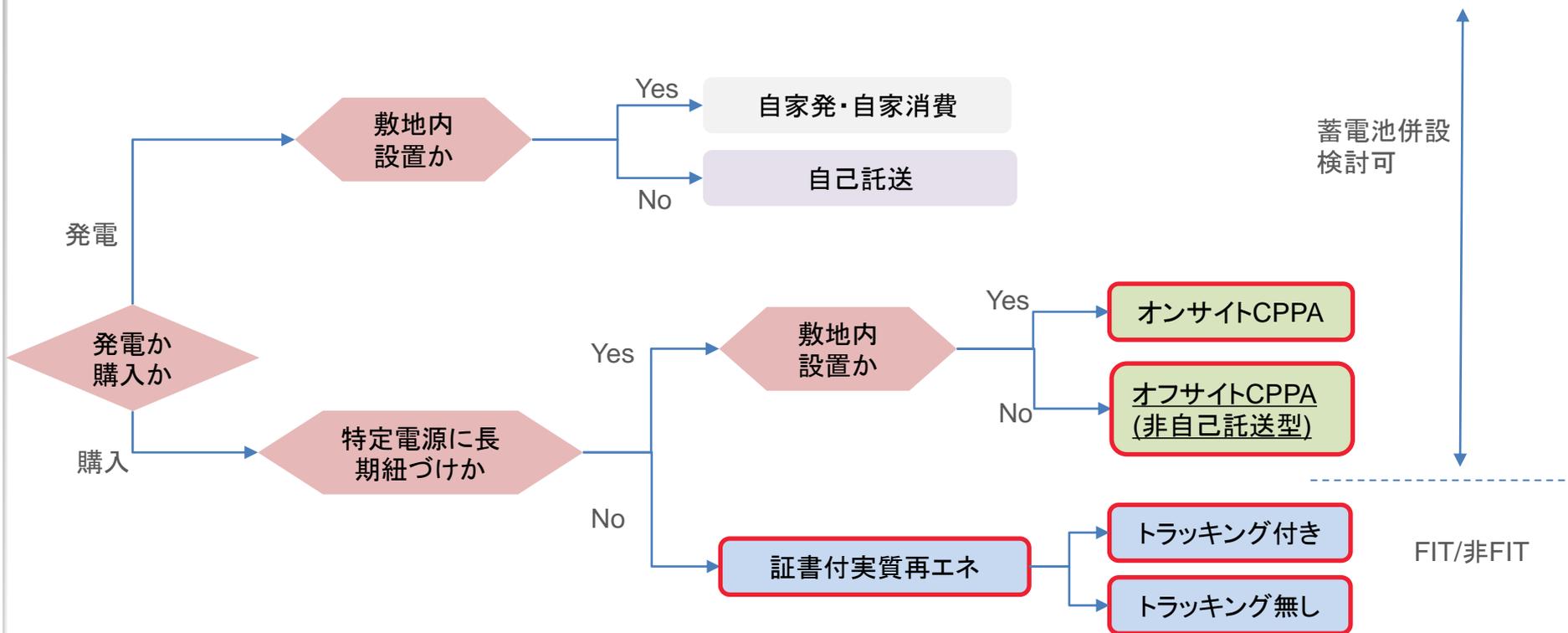


③ カーポート

オフサイト



再エネ電力導入概略スキーム（太陽光）



<オンサイト型PPA>

PPAモデル 契約形態

PPA(Power Purchase Agreement)とは・・・

事業者（丸紅）が所有する太陽光発電システムを、設置費用を事業者負担で契約者（土地所有者）の屋根に設置し、太陽光発電システムで発電した電気を施設でそのまま使用し、契約者は電気代（もしくはサービス利用料金）を事業者へ支払う電力販売契約です。



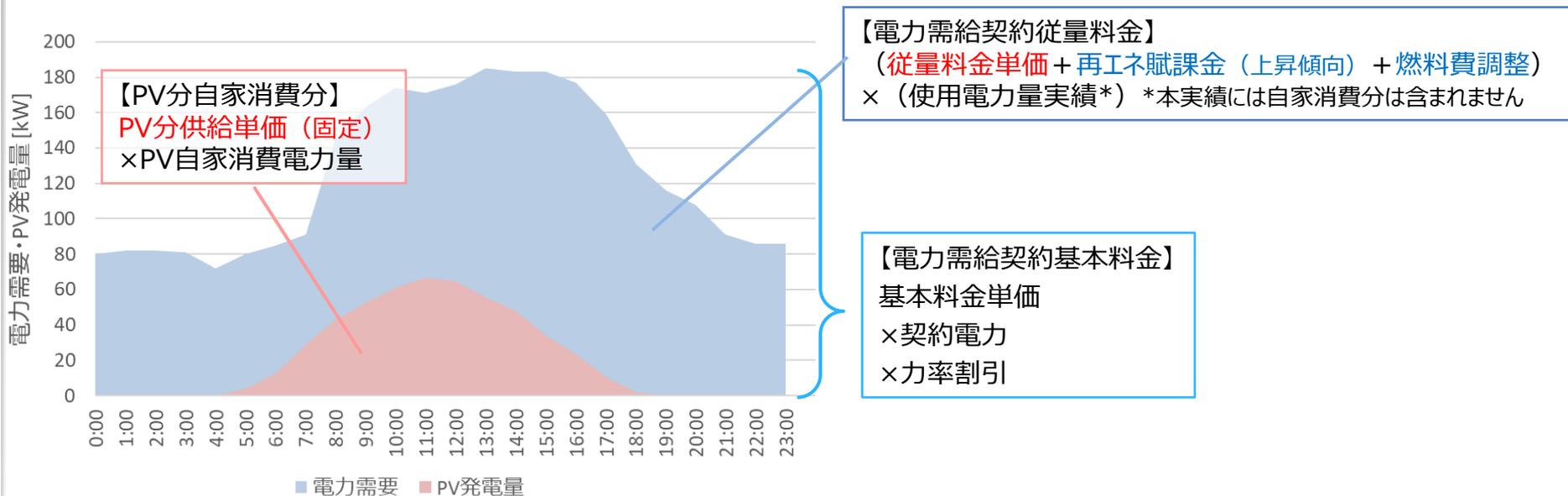
**「初期投資0円」で太陽光発電システムを導入
バランスシート、キャッシュフローへの影響もありません**



丸紅・丸紅パートナー企業が導入・保守コストを100%負担しますので、設置工事、メンテナンスなどの負担は基本的にございませぬ。従来と変わらない使い勝手でお得に電力をご利用いただけます。

PPAモデル 概略

- PV発電分はお客様設備にて自家消費し、電気代（もしくはサービス料金）をお支払いいただきます。
- PV発電による自家消費分は再エネ賦課金や託送料金の影響を受けないので、電力料金の上昇リスクを低減できる可能性があります。
- PV発電の自家消費分に含まれるCO2低減価値は、お客様への帰属も可能です。



PPAと自己投資型の比較

	C-PPA	自己投資型
PV等設置費用	発電事業者負担	お客様ご負担
自家消費分の電力料金	発電事業者からご購入 (再エネ賦課金・託送料金不要)	無し